

令和4年10-12月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和5年1月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和4年10月10日～令和4年12月31日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは253社で、全体の回収率は50.6%となった。回答企業の平均従業員数は52.8人であった。

業 種 \ 項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
		数	率	
食 料 品 製 造 業	95 社	48 社	50.5%	36.7 人
繊 維 ・ 同 製 品 製 造 業	59	30	50.8	19.3
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	30	15	50.0	22.3
紙 加 工 品 製 造 業	32	12	37.5	27.4
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	61	44	72.1	41.6
金属・機械・プラスチック製品製造業	223	104	46.6	82.9
計	500	253	50.6	52.8

6. 要旨

「全体的に停滞気味ではあるものの、来期は一部業種で回復の兆し」

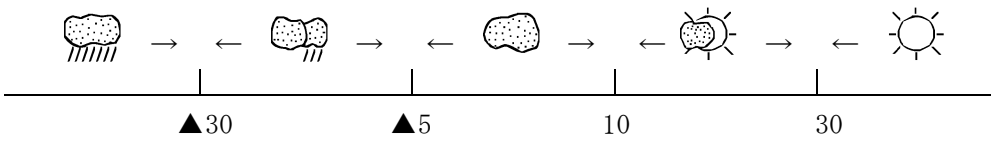
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和 3 年 10-12 月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲19.6 となり、前回調査(令和 4 年 7-9 月期)の▲19.0 から 0.6 ポイント下降している。来期見通しにおいては、3.6 ポイント上昇し、▲16.0 となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表 1】

	2 年	3 年				4 年				来 期 見 通
	10－12	1－3	4－6	7－9	10-12	1-3	4－6	7－9	10-12	
全 体	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲11.0	 ▲9.0	 ▲29.1	 ▲29.0	 ▲19.0	 ▲19.6	 ▲16.0

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復 0 業種、横ばい 7 業種、悪化 1 業種となっている。

- 横ばい…「食料品」  が継続。
- 「繊維・同製品」  が継続。
- 「木材・木製品」  が継続。
- 「紙・加工品」  が継続。
- 「窯業・土石製品」  が継続。
- 「機械・機器」  が継続。
- 「プラスチック製品」  が継続。

悪化…「金属・同製品」  → 

来期見通しにおいては、回復3業種、横ばい5業種、悪化0業種となっている。

回復…「食料品」



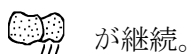
「金属・同製品」



「プラスチック製品」

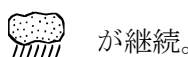


横ばい…「繊維・同製品」



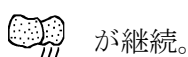
が継続。

「木材・木製品」



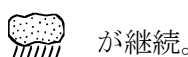
が継続。

「紙・加工品」



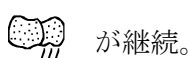
が継続。

「窯業・土石製品」



が継続。

「機械・機器」



が継続。

【図表2】

